

ソーシャルメディアポリシー（X（旧Twitter）アカウント）

1 概要

1 利用するソーシャルメディアサービス

X（旧Twitter）（<https://x.com/>）

2 アカウント名

@OKirameki

3 発信内容

- いわて奥州きらめきマラソンのホームページに掲載する情報を中心に発信する。

4 問い合わせ先

奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課

2 運用方針等

1 目的

本ポリシーは、いわて奥州きらめきマラソン事務局（以下「事務局」という。）のX（旧Twitter）（<https://x.com/okirameki>）のアカウント（以下「公式SNS」という。）の運用に関する事項について定める。

2 基本方針

公式SNSは、ソーシャルメディアが持つ情報の拡散性、即時性という特性を活かして、いわて奥州きらめきマラソン大会（以下「大会」という。）更新情報等を発信し、利用者にいわて奥州きらめきマラソンの理解を深めていただくとともに、利用者の利便性を高めることを目的とする。

また、公式SNSは、専ら情報発信を行うものとし、返信やダイレクトメールで大会への問い合わせがあった場合は都度相手方と同じ方法で返信を行う。

3 運用方法

公式SNSは、協働まちづくり部生涯学習スポーツ課が以下のとおり運用することとする。

（1）発信する情報

公式SNSでは次の情報を発信することとする。

- 大会公式ホームページの掲載内容
- 公式SNSに関する情報
- その他住民のニーズの高い情報や周知する必要のある情報

（2）緊急時等における対応

平成23年3月に発生した東日本大震災の際のように、平時と異なる対応が必要とされる場合は、住民のニーズに応え、それらの対応に資する観点から、政府機関や他の公共的機関の発信する関連情報についても、必要に応じてフォロー及びリポスト等を行う。

4 免責事項

公式SNSにおける免責事項は、次のとおりとする。

- ・ 公式SNSの掲載情報の正確性については万全を期しておりますが、事務局は利用者が公式SNSの情報を用いて行う一切の行為について何ら責任を負うものではありません。
- ・ 事務局は、ユーザーにより投稿された公式SNSに対する、「リプライ」、「リポスト」、「コメント」等につきまして一切責任を負いません。
- ・ 事務局は、公式SNSに関連して、ユーザー間又はユーザーと第三者間でトラブルや紛争が発生した場合であっても、一切責任を負いません。
- ・ コメント等の投稿にかかる著作権等は、当該投稿を行ったユーザー本人に帰属しますが、投稿されたことをもって、ユーザーは事務局に対し、投稿コンテンツを全世界において無償で非独占的に使用する権利を許諾したものとし、かつ、事務局に対して著作権等を行使しないことに同意したものとします。

5 利用者による書き込みの削除等

公式SNSへの利用者による書き込みが次に該当する場合、削除又はアカウントのブロック等を行う。

- ・ 法律、法令等に違反する内容、または違反するおそれがあるもの
- ・ 特定の個人・団体等を誹謗中傷するもの
- ・ 政治、宗教活動を目的とするもの
- ・ 著作権、商標権、肖像権など市または第三者の知的所有権を侵害するもの
- ・ 広告、宣伝、勧誘、営業活動、その他営利を目的とするもの
- ・ 人種・思想・信条等の差別または差別を助長させるもの
- ・ 公の秩序または善良の風俗に反するもの
- ・ 虚偽や事実と異なる内容及び単なる風評や風評を助長させるもの
- ・ 本人の承諾なく個人情報を特定・開示・漏えいする等プライバシーを害するもの
- ・ 他のユーザー、第三者等になりますもの
- ・ 有害なプログラム等
- ・ わいせつな表現などを含む不適切なもの
- ・ 事務局の発信する内容の一部又は全部を改変するもの
- ・ 事務局の発信する内容に関係ないもの
- ・ その他、事務局が不適切と判断した情報及びこれらの内容を含むリンク等

6 著作権について

公式SNSの内容について、私的使用又は引用等著作権法上認められた行為を除き、事務局に無断で転載等を禁ずる。引用等を行う際は適宜の方法により、必ず出所を明示することとする。

7 運用方針の周知、変更等

本方針の内容は大会公式ホームページに掲載する。また、本方針は必要に応じて変更するものとする。

3 基本対策事項

1 なりすまし対策

情報が事務局から発信されたものであると認識できるようにするため、次の対策を行う。

- ・ アカウント設定の自由記述欄等を利用し、運用組織が事務局であることを明示する。
- ・ 大会公式ホームページに利用するサービス名、アカウント名及びリンクを明記する。また、このページのURLをアカウント設定の自由記述欄に明記する。
- ・ X(旧Twitter)の「認証アカウント(公式アカウント)」を取得する。

2 アカウント乗っ取り対策

不正アクセスを防止するため、ログインパスワードについて、適切な管理を行うこととし、次の対策を行う。

- ・ ログインパスワードは、8文字以上、英数字、記号を組み合わせたものとする。
- ・ パスワードの使い回しをしない。
- ・ 情報発信担当者を定め、担当者のみパスワードを使用する。

また、端末が不正に操作されることを防ぐため、不審なメールは開かないで削除するなどの基本的な情報セキュリティ対策を徹底する。

3 なりすましや不正アクセスを確認した場合の対処

(1) なりすましが発生していることを発見した場合

大会公式ホームページから、なりすましアカウントが存在することの周知を行う。その他報道機関を通じて注意喚起を行う。

(2) アカウント乗っ取りを確認した場合

被害を最小限にするため、ログインパスワードの変更やアカウントの停止を速やかに実施し、大会公式ホームページから周知を行う。